



◆北九州市エコタウンセンター

エコタウン事業を生きた教材とした環境学習拠点として、また、エコタウン全体の中核的施設として、実証研究エリア内に北九州市エコタウンセンターを平成13年6月に開設しました。

平成26年度は、エコタウンセンターにおいて30,978人の視察者を受け入れ、エコタウン事業全体では100,332人の視察者を受け入れました。

●エコタウンセンターの主な機能

- ・市民をはじめとする環境学習
- ・見学者の対応
- ・環境・リサイクル技術、製品の展示
- ・市内環境産業のPR
- ・環境関連の研修、講義の実施
- ・研究活動支援



2. 北九州エコプレミアム産業創造事業

(1) エコプレミアムの選定

市内の産業・技術分野の取組や成果の中から、環境配慮型製品・技術及びサービスを「北九州エコプレミアム」として選定し、その拡大、浸透を図る取組を行うことにより、市内産業界全体の環境配慮活動を促進します。

平成26年度時点で、155件の製品や技術、35件のサービスを選定しています。

〈主な選定製品・サービス〉



(2) PR・販売支援の取組

地域産業界の環境意識の高揚と、環境ビジネスの振興・発展を図ることを目的に、西日本最大規模の環境見本市「エコテクノ」展を開催しています。

本市のブースでは、環境未来都市としての本市の取組の紹介や、北九州エコプレミアム製品・サービスのPR等を行っています。

■概要

開催日：平成26年10月8日(水)～10日(金)

会場：西日本総合展示場

来場者：33,420人



3. 九州環境技術創造道場

(1) 概要

「九州環境技術創造道場」は、優れた環境人財の創出を目的として平成16年度から実施しています。

本道場で育成する人財は、環境、特に廃棄物分野での幅広かつ実務的な専門知識を有する気概のある技術者です。受講後は主として九州地域ひいてはアジアの廃棄物問題の総合的な技術者、環境ビジネスのリーダーとしての活躍を期待しています。

講師陣には、本市エコタウンの有する人的ネットワークを活かして、国内でも有数の大学・民間企業等の技術者を招き、主に最終処分場について国内外の最先端の情報を取り入れた講義を実施しています。

また、講義のみの知識偏重教育ではなく、講師・受講生の双方向での討議・交流を実現するため、講師陣と寝食をとる合宿形式を採用しています。

(2) これまでの取組

九州環境技術創造道場は、平成16年度から毎年開催され、平成26年度までに民間・行政からの受講生258人が修了しています。道場修了後も、受講生による新聞(九州環境技術創造道場新聞)の発行など、講師・受講生間で相互交流が継続しています。



4. エコアクション21の認証・登録の支援

市内中小企業者等の環境への取組を促進するため、環境省が策定した環境経営システムである「エコアクション21」の導入セミナーや、認証・登録に向けた実践講座の支援をしています。

この「エコアクション21」に取り組むことにより、事業者には事業の効率化、廃棄物の削減や省エネルギー化が図れるほか、企業間の取引要件(環境経営の要請等)に対応できるなどのメリットが期待できます。

平成27年3月現在、市内145企業が認証・登録されています。

5. 環境未来技術開発助成事業

循環型社会及び低炭素社会の実現に向け、新規性、独自性に優れ、かつ実現性の高い環境技術の実証研究や社会システム研究、フュージビリティスタディ(FS)研究に対して研究費を助成し、新規の環境技術開発の支援を行っています。

平成26年度までに、115件の研究に対して助成を行っています。

■助成率

- ・市内中小企業などが中心となって実施する場合  
市内教育研究機関と市内中小企業が  
共同実施する場合・・・対象経費の2/3以内
- ・上記以外・・・対象経費の1/3～1/2以内

■限度額(1テーマ 1年度あたり)

- ・実証研究(事業化チャレンジ枠)・・・1500万円
- ・実証研究(一般枠)・・・1000万円
- ・社会システム研究・FS研究・・・200万円